

委員からの質問・意見（今回受付分）

委員から文書で提出のあった質問・意見は添付のとおりです。

目次

(1) 道津 靖子 委員提出 2

山里中央自治会班長会（3/26 開催）と令和 4 年度新班長会（4/23）で第 40 回地域連絡協議会の資料 5 を説明、役員・班長からの忌憚ない意見・質問が出された分と後日ご意見いただいた分それぞれ住民の感想・意見・質問そのままの内容で提出させて頂きました。

ご回答宜しくお願い致します。

① BSL-4 での緊急事態の時

- ・情報伝達するとき、「家から出ないように！！とか「家から〇〇へ避難してください！！」とか具体的な指示もしてほしい。

- ・今後ハザードマップみたいなものも出てきますか？

- ・BSL-4 のアプリを作るとか、QR コードを作りアクセス出来るようにするのはどうか？

（理由として；地域内に居る人は野外スピーカーや防災無線で情報を得ることができるが、親が地域外で子供は山里小学校とかに登校中の時など、BSL-4 の情報を共有できるようにしてもらえると事故状況の把握がタイムリーで子供の安全につながるから。）

- ・大学、県、市がそれぞれ独立しているため命令系統がうまくいかないのではないかと。三者がクロスする形にして責任の所在をはっきり明記して頂きたい。

- ・伝達方法について、「必要に応じて」とあるが、この言葉では都合よく解釈されてしまうのではないかと。住民の側に立って、あくまで安全安心のための「必要に応じて」であってもらわなければ困る。

- ・電話やメールでの連絡では時間がかかりすぎる。他の手段も考えてほしい。

- ・非常事態に備えての現場（BSL-4 施設、大学）、消防、警察、自衛隊との合同訓練が定期的に必要！！住民への通知も含めて、その計画はどうなっているのか？

- ・BSL-4 施設ゲートに配備される警備員の教育や審査も大切。

② 実験情報開示フォーム

- ・BSL-4 施設でどういう実験が行われているのか見えないのが不安だったので、実験の情報が開示されることは良かった。

- ・実際のウイルス名もちゃんと出してもらえるのですか？

・研究、作業内容には、ウイルスの種類を明記してほしい。

③ 軍事的な研究はしないということ

・BSL-4 施設の玄関に学長宣言として掲示してくれることは嬉しいし、会長が言い続けてくれた成果で有り難い。

・『長崎大学長宣言』より『長崎大学宣言』ではだめでしょうか？（理由として；学長が代わると、宣言も変えられる可能性もあるので。）

・このこと（軍事的な研究をするのではないか）が一番気になった、会長から説明されほっとした。。

④ テロ対策

・柏崎刈羽原発で去年テロ対策の不備が相次いで判明したらしい。（核物質防護上の秘密情報の共有、対応するための規程についてのこと）

BSL-4 施設もテロのターゲットとなる危険性も大いにあるので、テロ対策はどうなっているのか、住民に説明してほしい。

⑤ 研究、健康管理について

・実験終了後 14 日間体調管理とあるが、体温と体調チェックだけでいいのか？異常ありの場合にはもうすでにウイルスの周囲への感染が始まっている可能性がある。是非 2 週間の隔離にしてほしい。

・研究や実験が今後どのような形で医学や人類に貢献できるのか、本当にその実験の必要性があるのか、チェック出来るようにしてほしい。

ある程度医学素人（住民）も納得する内容を示してほしい。

・「人物審査」の項目のところですが、精神状態・アルコール及び薬物影響の有無・健康状態→実験者の心身状態をどのようにチェックするのかが説明不足と感じた。

私以上に厳しい意見や質問もありましたが、しっかり受け止め、住民の不安に寄り添って頂ければと思います。ご回答宜しくお願いします。

以上